

# 岡山市水道局

設計 山下設計 関西支社

施工 荒木組・蜂谷工業・中国建設工業特定建設工事共同企業体

所在地 岡山市北区鹿田町二丁目  
OKAYAMA CITY WATERWORKS BUREAU

architects: YAMASHITA SEKKET

北西から夕景時の外観を見る。外構もライトアップされ、新庁舎に相応しい市民から親しまれる空間作りを実現させている。



旧岡山市水道局の本局庁舎は、昭和38年に鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建ての本館および2階建ての別館の二棟を業務の拡大に合わせて建設され、その後、幾度かの増改築を繰り返して現在の形になりました。建設当初から鹿田町ロータリーに面した建物は水をイメージした青色で、今日まで50余年の長きに渡り水道局のシンボルとして広く市民に親しまれてきました。

しかし、建物全体の老朽化に加え、耐震性能の確保が難しいことも調査で判明し、新庁舎が必要であるという結論に至り、新庁舎建設事業を進めることとなりました。

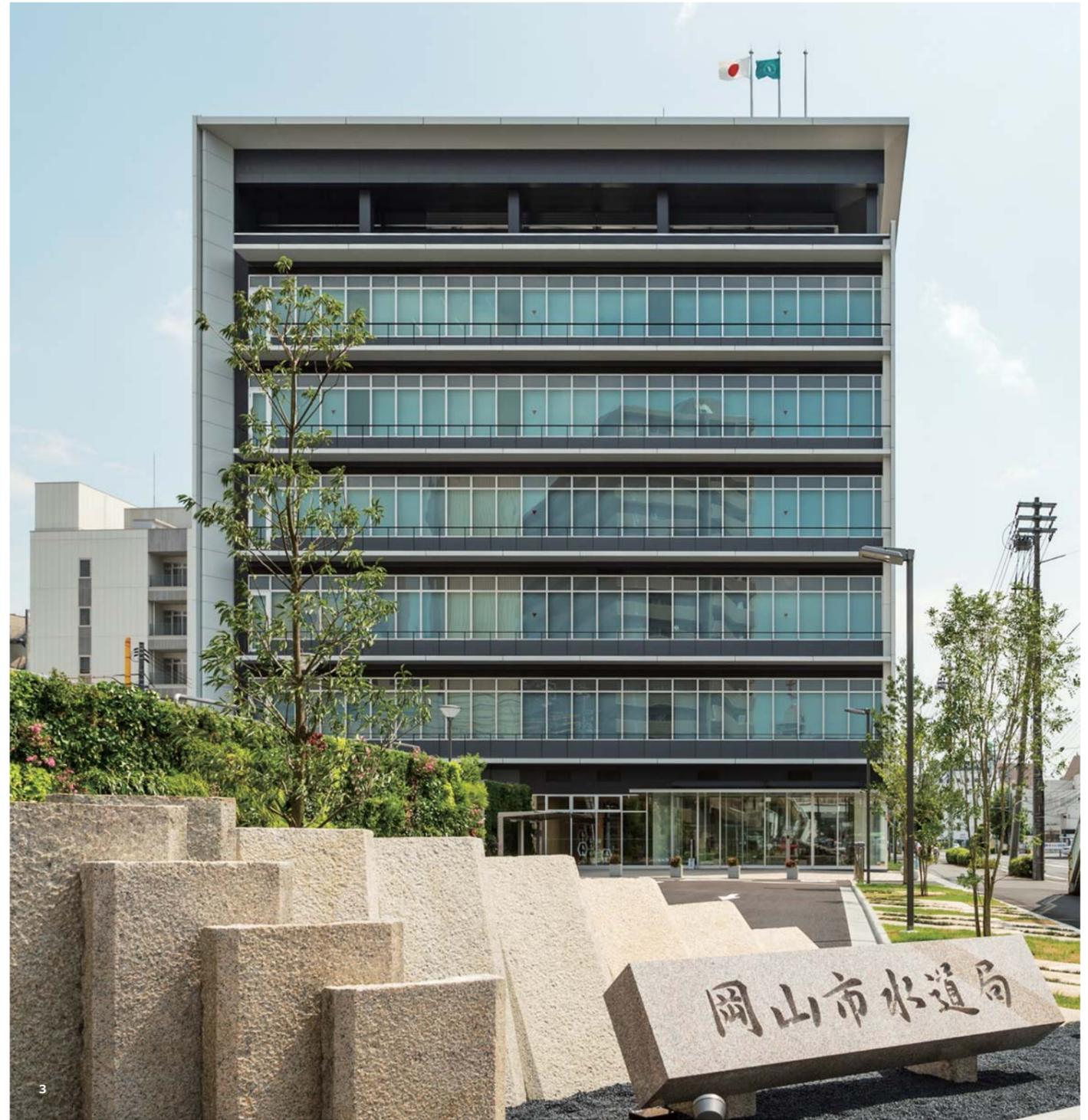
今回、新庁舎に建て替えるにあたり、「次世代へつなげる安心と信頼の拠点づくり」を基本理念に定め、これまで培ってきた“ゆるぎない安心と信頼”の概念をさらに次の世代に継承することを目指しました。新庁舎は市民のためのサー-

ビス施設として、将来の行政需要に的確に対応できる平面及び設備計画とし、機能性と効率性に優れた使い勝手の良い庁舎になるよう造られました。

1 夕景時の正面玄関を見る。市民ホールには、全国各地の美しい水道水が展示されている。| 2 新庁舎の特徴である美しい水平・垂直のラインはアルミパネルにフッ素樹脂焼付塗装仕上で造られている。| 3 交差点に面する北西部に、万成石で造られたモニュメントを設置。| 4 南西から外観を見る。旧庁舎よりもセットバックして建て、歩道の通行に支障のないよう配慮している。| 5 南東から外観を見る。住宅地に面しており、プライバシーに配慮し開口部は最小限とした。



2



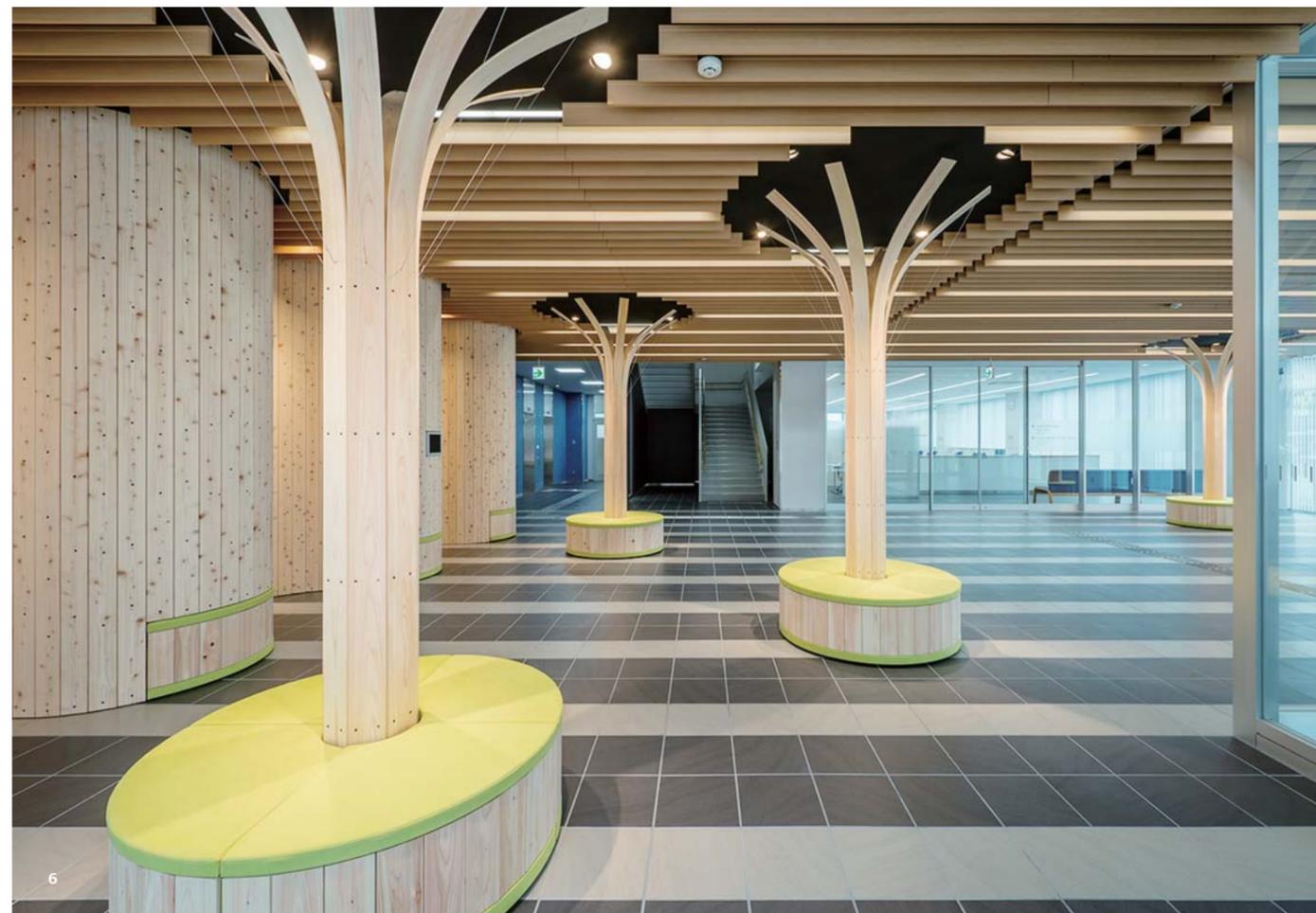
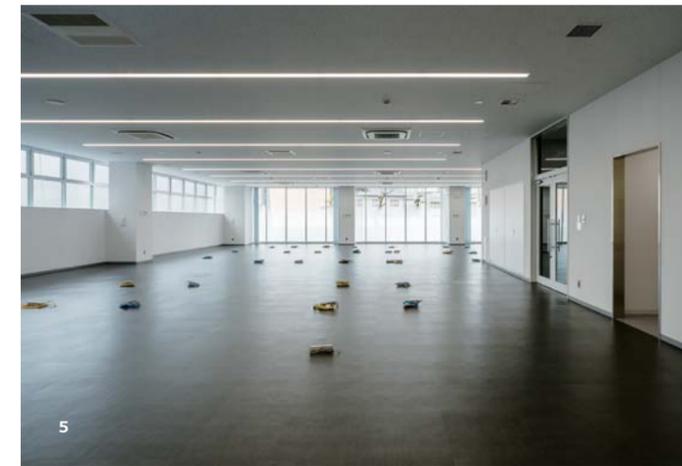
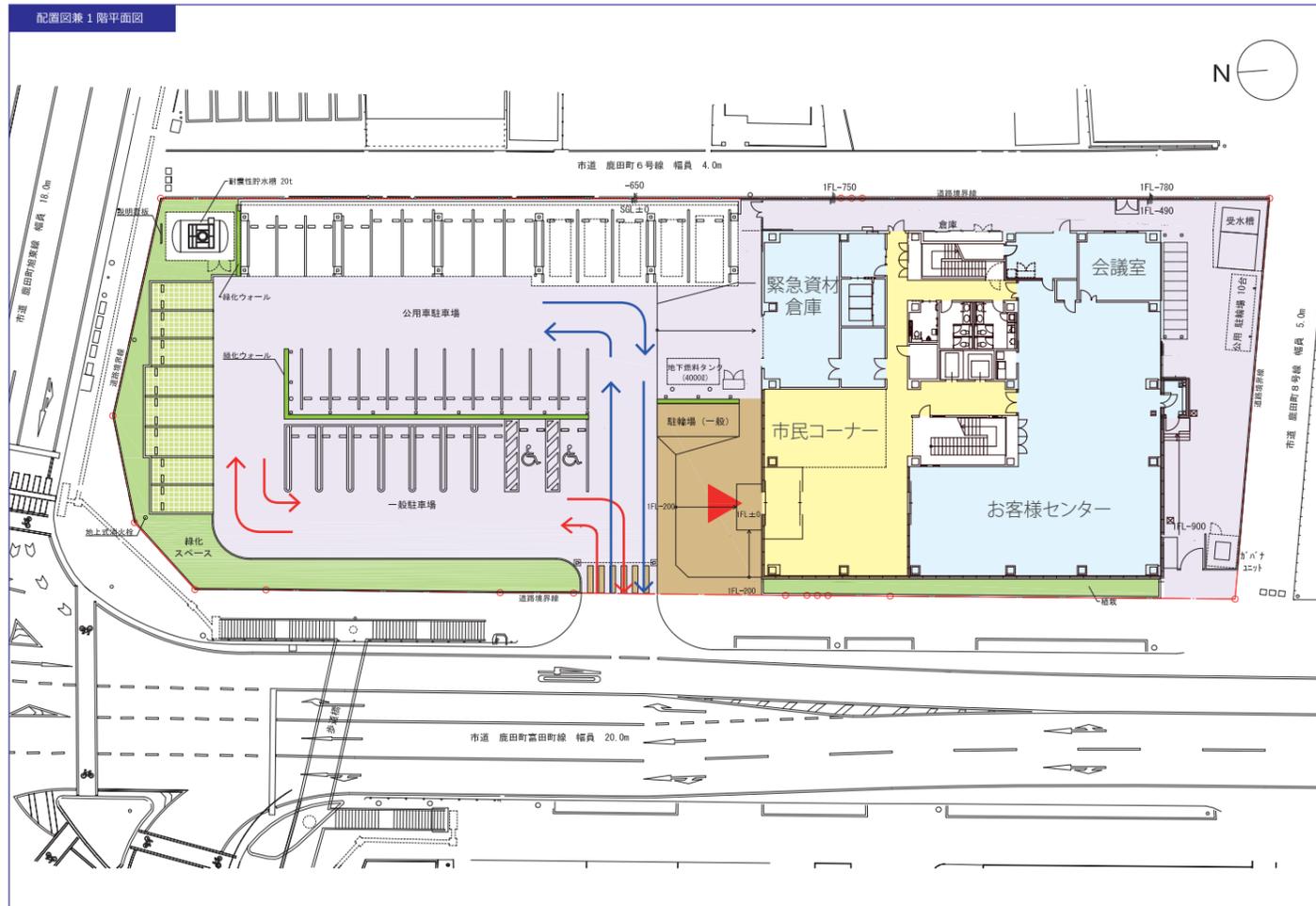
3



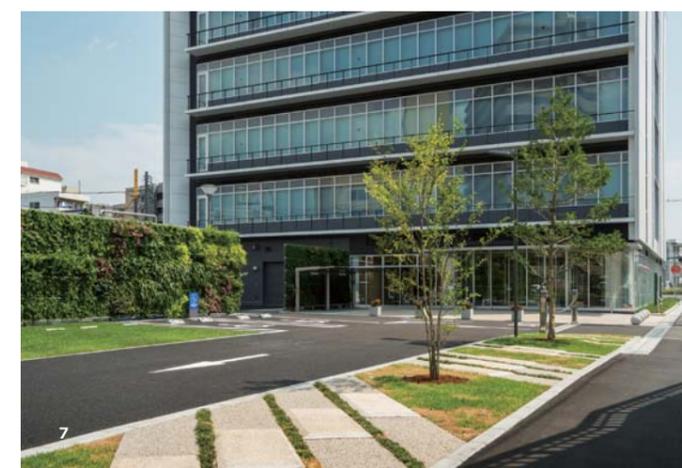
4

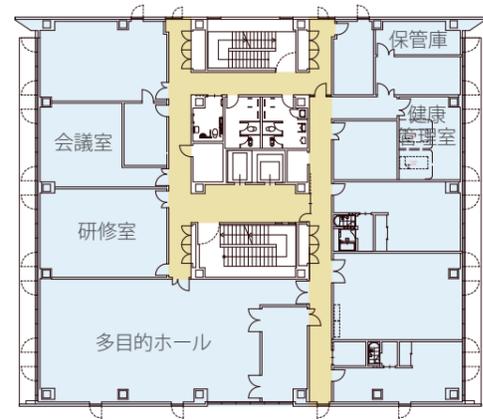


5

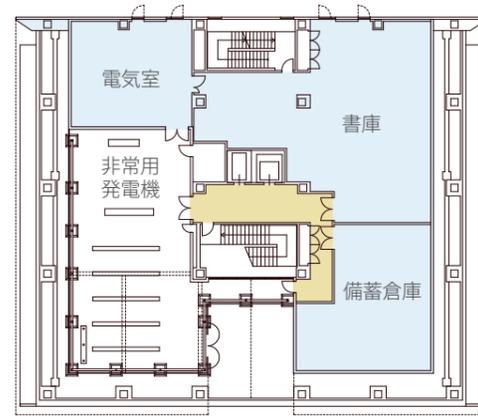


1 給水車のタンクに水を補充する時に使用する給水栓が2箇所設置されている。| 2 地震等の災害時に水を貯めておける耐震性貯水槽を設置。スタンドを設置することにより、水道水の配給が行える。| 3 公用車駐車場とお客専用駐車場の仕切りに緑化ウォールを採用し、周辺環境、景観に配慮した整備を行っている。| 4 1階に緊急資材倉庫を設置。漏水等の緊急時に必要な資材を常時完備している為、迅速に対応できる。| 5 水道局の窓口である為、お客様センターを1階に配置し、ガラス張りにすることでより市民の方が利用しやすい開かれた庁舎となっている。| 6 1階市民ホールは県立大学の学生と協働してデザインされており、市民の憩いの場となる。| 7 歩道と駐車場の間に緑化スペースを設けることにより、歩行者が通行しやすく整備されている。

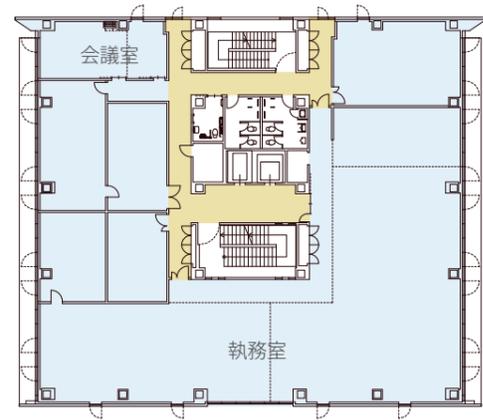




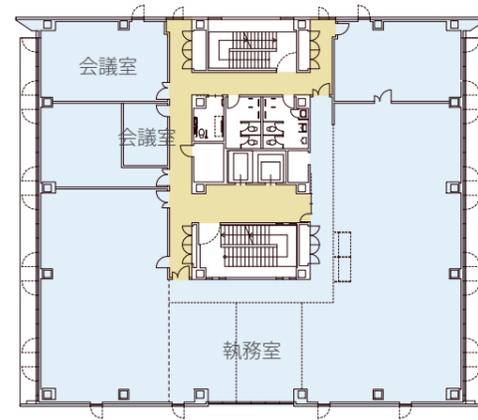
6階平面図



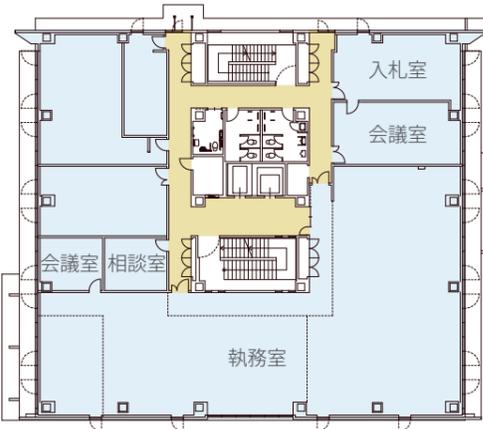
7階平面図



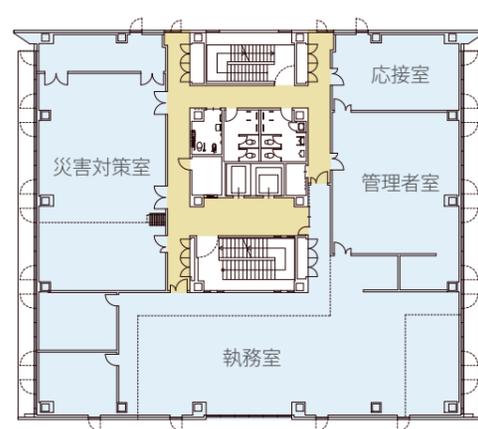
4階平面図



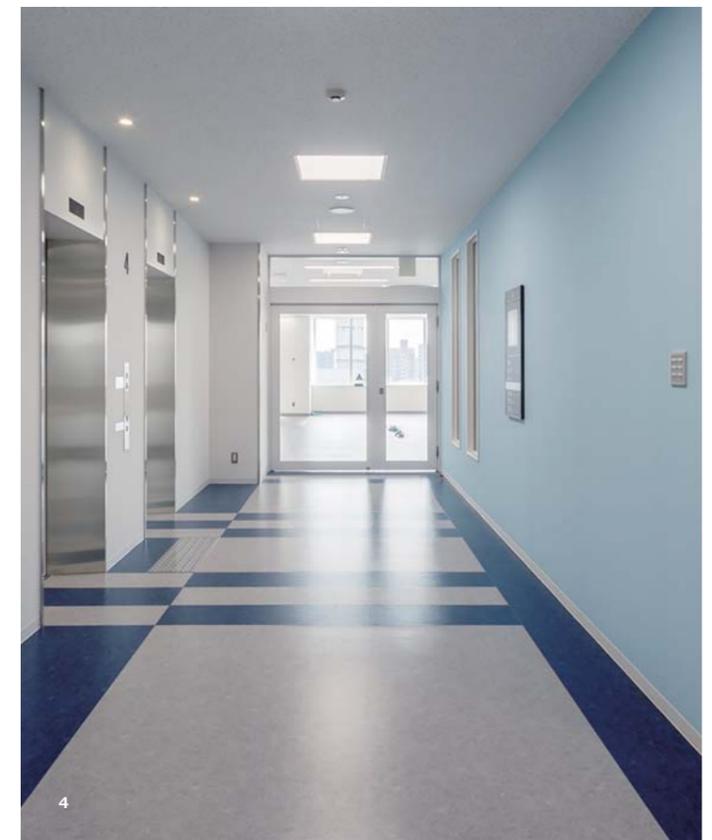
5階平面図



2階平面図



3階平面図

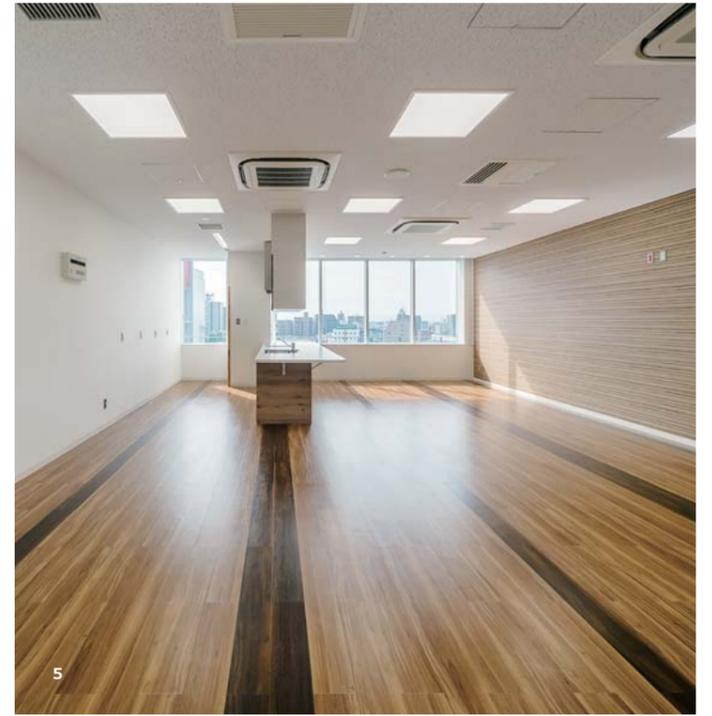


1 災害時にも水道局の機能を発揮できるよう、3階に災害対策室を整備。可動間仕切りにより、フレキシブルな利用ができる。| 2 管理者室は災害対策室と同フロアに配置。床はタイルカーペットを採用。| 3 3階応接室。水道局のイメージカラーである青を積極的に採用している。| 4 エレベータ前ホール。清潔感のある爽やかなアクアブルーの壁でお客様を出迎える。



1 階段室は東と中央部に配置。階段室は屋上まで繋がっており、庁舎内の自然換気により環境負荷の低減を行っている。| 2 来庁者が利用しやすいよう各階に多目的便所を設置している。| 3 執務室。自然光を取り入れやすいように開口部の設計がされている。| 4 6階に休養室を配置。落ち着いた和の空間とした。| 5 食堂の色調はブラウンをベースとしている。床材はビニル床タイル（木目調）を採用しコスト削減を行っている。| 6 6階の多目的ホールは会議や研修、イベント等、様々な用途に対応できる。| 7 7階永久書庫。重要な書類はここで永久に保存される。7階には他に機械室や備蓄倉庫等を配置している。

**岡山市水道局**  
 所在地 岡山市北区鹿田町二丁目1番1号  
 主要用途 事務所  
 施主 岡山市  
 設計・監理 山下設計 関西支社  
 施工 建築 荒木組・蜂谷工業・中国建設工業特定建設工事共同企業体  
 空調・衛生 山陽技研・五洋工業特定建設工事共同企業体  
 電気 木多電気設備・池田電業特定建設工事共同企業体  
 地域地区 商業地域  
 敷地面積 2,934.11 m<sup>2</sup>  
 建築面積 1,182.65 m<sup>2</sup>  
 延床面積 6,347.41 m<sup>2</sup>  
 階数 地上7階  
 構造 鉄骨造  
 工期 2015年7月～2017年8月



断面図

- 1 風の塔  
吹抜の熱だまりによる上昇気流で電力に頼らない換気
- 2 効率的な執務空間  
コア部をまとめて配置し、将来の組織改編に追従できるフレキシブルな執務空間とした
- 3 LED照明  
省エネ機器の採用
- 4 空調システムの二重化  
(ガス式と電気式の併用)
- 5 雨水貯留  
下水道への流出抑制と植栽への散水として利用
- 6 太陽光発電  
20 kWを屋上に設置
- 7 バルコニー  
窓ガラス落下防止  
夏期の直射日光を遮蔽
- 8 南北方向をガラス面とし、日射負荷の高い東西面は壁面とした
- 9 Low-e 複層ガラス  
夏の日射熱の進入を抑え、冬は暖房熱の流出を抑える

